

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-32 保健医療福祉センター事業 □支援部門				タイムスコード及び個別事業名	
	市民健康課 関連課 障害者いきいき課、こどもみらい課、こども相談課等				1276	保健医療福祉センター事業
主管課	市民健康課					
分野名	健康福祉					
目標 (目標値)	保健・医療・福祉の地域社会における取組みについての課題を整理し、(仮称)保健医療福祉センターの整備方針を再検討する。					
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考		
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源 状況	決算値	3,288千円	2,134千円	指標と評価 指標 (仮称)保健医療福祉センターの見直し方針策定 評価 ○ ◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	(国・県)	0千円	0千円			
	(負担金等)	0千円	0千円			
	(一般財源)	3,288千円	2,134千円			
	人員配置数	0.5人	0.5人			
	人件費	4,638千円	4,683千円			
	協働の パートナー	無	無			
事務事業 運営経費	総事業費	7,926千円	6,817千円	20年度	検討・審議	検討・審議
	市民1人当 りの経費	45円	39円	21年度	検討・審議	機能について の提言策定
	対象者1人 当りの経費	-	-	22年度	検討	
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名					
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) センター建設の前提となる、面的条件の一つである深沢地域国鉄跡地周辺総合整備事業の進捗状況を注視する必要がある。				
	創意・工夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 保健医療福祉センター機能の見直しのため、保健医療対策審議会を開催した。保健医療対策審議会では、審議会委員により組織された専門部会からの報告書を叩き台とし、平成22年3月に「鎌倉市保健医療福祉センターの機能について 提言」が作成され、市長に提出された。保健医療福祉センターの建設候補地としている旧国鉄精算事業団用地での、深沢地域国鉄跡地周辺総合整備計画事業における保健医療福祉センターの位置づけ及び重要性についての認識は高い。				
	未解決の 課題・問題 点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 審議会において保健医療福祉センターの機能については議論したものの、具体的な運用方法や整備方針については、審議するまでに至らなかった。				
	今後の方 針(対応・ 改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 今後、施設整備を具体的に進めていくためには、事前に関係機関や団体と十分に協議、調整し、新たな協力体制を整える必要がある。				
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了						
評価結果	改善の必要性			評価結果	改善の必要性	
C	有	保健医療福祉センター建設を具体化するためには、運用方法や整備方針について整える必要がある。		C	有	市民ニーズや社会経済情勢等を注視しながら、保健医療福祉センターの建設を含め、あり方について考えていく必要がある。
課長名	市民健康課長 相川 誉夫			部名・部長名	健康福祉部長 石井 和子	